

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名 高田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

地域全体の高齢化率は 24% を超え、地区によっては 30% を超えています。また世帯人口の減少も進んでおり、独居や老老世帯も増加しています。そのため買い物等日常生活に不便を感じている方や、災害時の避難や対応などへの不安を持っている方が多くいらっしゃいます。高田地区では『ひっとプラン』の中で、災害時要援護者支援の取組みの他、地域で活動している団体同士の関係づくり、子育てに関するネットワークづくりに取り組み、ケアプラザも区及び区社協とともに支援チームの一員として関わりました。また個別及び包括レベルの地域ケア会議を実施するなど、地域課題への取組みも行いました。

ケアプラザとしての地域の現状（課題）把握は地域の関係機関との情報交換の他、民生委員の方々と実施した聞き取り調査や自主事業参加者を対象としたアンケートや利用団体・利用者の声などから行いました。またプラザ内の各部門各職種からも情報を集約し、そこで得られた様々な地域課題について、地域が主体となって解決に向けた取組みが行なえるよう関係機関・団体等と連絡調整し、必要に応じて自主事業等の企画・実施にもつなげました。職種間連携を重視し、担当のみに業務が偏ることなくプラザ全体として関わり、取り組んでいく体制づくりを心掛けました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域にとって最も身近な相談機関として、あらゆる世代、また種類の相談に対応した窓口となるよう努めました。各々の職員が情報共有しながら迅速に対応し、必要に応じて関係機関に的確につなぐことを心掛けました。日頃から民生委員はじめ関係各所と連携してケースの発掘（早期の相談対応）につなげる他、各種事業や広報紙でも相談窓口の存在を周知し、気軽に相談していただける雰囲気づくりに心掛けました。

(2) 各事業の連携

会議の場に限らず日頃から地域課題や地域資源、実施する事業について情報共有するよう心掛けました。3 部門 5 職種の連携により、自主事業（あったかだ・えがおカフェ）や地域ケア会議など様々な事業を実施しました。認知症サポーター養成講座は前年に引き続き貸館利用団体や小中学校に向けても実施しました。高田研修所を会場にした「高田の丘サロン」の実施や自宅開放型の新たな居場所づくりの検討も連携しながら行いました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

指定管理事業、介護保険事業とも運営基準上の配置を確実にいき、業務の安定を図ります。育成については職員として最低限必要な人権擁護や個人情報保護等といった内容は、定期的な研修の他にミーティング等で随時確認しながら、職員各々の意識を高く保持します。新入職員には入職時にオリエンテーション及び新任研修を実施し、その後も定期的な法人及び職場内研修の実施や外部研修への参加機会を確保し、資質向上を図ります。実務経験を重ねた職員には専門職としてより高度なスキルが身に付けられるよう、職員各々のレベルに合わせて段階的に研修を受講させ、育成を行っていきます。また業務遂行に必要、あるいは望ましい資格の取得、更新に係る費用は施設側で負担し、学習意欲や向上心を高めます。日頃から他部門と協働して事業を行うことで職員間の連携を深め、それぞれの職員の職務範囲を広げていきます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

「ひっとプラン港北高田地区計画」や「包括レベル地域ケア会議」等を中心に地域関係団体や医療機関、サービス事業者等と連携を図りました。また地区社協が主催する「活動団体懇談会」や子育て関係の施設等で構成される「子育てネットワーク会議」とも連携し、関係づくりや課題の把握、事業の共催等も行いました。地区社協や民児協等の定例会にも出席し、関係強化に努めました。

(5) 区行政との協働

毎月の定例ケア会議や所長会、各職種毎の連絡会において行政と情報共有、意見交換を行いました。地域の多様化、複雑化した問題にもスムーズに対応できるよう、通常よりも広い範囲の地区担当者が集まるエリア会議を開催し、情報共有を図りました。地域ケア会議や元気づくりステーション等、区域で必須となっている事業の他にも、子育て支援事業や離乳食教室、学習支援等の事業実施に協力しました。また「ひっとプラン港北」でもサポートスタッフとして区との協働を図りました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域の方々や団体と連携、協働し事業の開催や情報提供・収集に努めました。有志住民による「高田子ども未来応援団」を立ち上げ、子どもの居場所づくりを行いました。8月にオープンスペースを開催し多くのお子さんに参加いただきました。11月3、4日には、「高田ふれあい作品展」を開催し、貸館利用団体による作品発表の場を設けました。また、体験コーナーや喫茶コーナーを設け多くの方にご来館をいただきました。1月には、「百人一首・かるた大会」を行い、多世代に皆様にご参加いただきました。これまで、ケアプラザを利用されていない方に、ケアプラザを知っていただく、足を運んでいただく機会づくりに努めました。このような事業を通じて、新たな担い手の発掘につなげる事が出来ました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

各団体との交流を深め、自主事業開催時には喫茶や調理の福祉保健活動を依頼するなど、その団体に合った活動の場の提供に努めました。また、作品展を開催し、活動団体の作品展示や体験コーナーを設け、団体間の交流、親睦を深めることができました。

貸館につきましては、予約状況表を提示することにより予約の取りやすい環境をつくっています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

新規立ち上げ事業を通じ、新たなボランティアの発掘、育成に努めました。また、個人の特技などを有効利用できるように情報収集を行い、ボランティアコーディネートを行いました。

ボランティア懇談会を行い、意見交換を行うことにより交流を深めました。

これまでの、チラシ等での募集ではなく、人からの紹介（繋がり）を中心にボランティアの発掘を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域活動団体の定例会や地域活動に積極的に参加し、情報収集、情報提供に努めました。貸館利用団体につきましては、活動内容、活動状況を把握し地域支援へつなげました。また、ケアプラザ広報紙にて事業の案内や地域情報発信に努めました。高田地区子育てネットワーク主催の会議においては、幼稚園、保育園とも連携し保護者への情報発信を行いました。高田地区社会福祉協議会主催の地域活動団体懇談会においては、各団体の課題を把握し団体間で連携し、課題可決に向けた活動を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

5職種会議や定例の会議等を通して、ケアプラザ全体で事業に取り組んできました。それぞれの職種の視点で意見交換を行い、自主事業内容の改善に努めました。

地域課題の一つに、地域ケアプラザ以外の活動場所がないと挙がっていましたが、地域住民より地域貢献したいという思いがケアプラザにあり、町内会が主体となって「ふだん着 絆」が開始されました。ケアプラザとして後方支援に努めました。

また、高田研修所で開催している「たかたの丘サロン」やケアプラザで開催している「えがおカフェ」に関しては、介護予防に関する講座を開催しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、介護保険事業職員と連携し、会議の場や日々の業務の中でも、ニーズ把握に努めました。

高田地区民生委員児童委員協議会の定例会に毎月参加し、そこで民生委員による外出に関する調査を実施し、地域特性を把握することに努めました。

(3) 連携・協議の場

高田地区社会福祉協議会に参加し、地域課題等の共有に努めました。高田地区民生委員児童委員協議会の場において、外出に関する調査結果をもとに、グループワークを実施し、必要な生活支援、特に買物に重点を置き、新たなサービスの創出に向けて働きかけを行っています。

包括レベルの地域ケア会議を年2回開催しました。高田町連合町内会や地域の病院や薬局、消防署、警察署等を交え、早期発見を目的とした見守りネットワーク構築に向け取り組んでいます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

月1回区内の生活支援コーディネーターや行政、区社協が集まる連絡会に参加しました。そこで、担い手不足はどの地域でも上げられる課題の一つであり、区内の生活支援コーディネーター連絡会主催で、よこはまシニアボランティア研修を開催しました。また、区内に開所された生きがい就労支援スポットとの連携強化のため、顔の見える関係づくりや情報共有に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

『地域ケア会議』を通じて、町会や医療機関など関係機関との連携を深めることができました。また引き続き公的なサービスでは対応困難な事例も多く、地域交流部門や生活支援体制整備事業部門との連携によるインフォーマルな活動団体とのネットワーク構築の必要性が高まっています。

② 実態把握

包括内で個別ケースの情報共有や、行政が行う統計調査を基に地域データとしてまとめ、生活支援体制整備事業部門や地域交流部門、包括の5職種で連携し、民生委員や町会関係者の方々に情報提供を行うなど実態把握に努めました。地域ごとにどのようなニーズがあるのか、今後分析や内容の検討等を行う必要があると思われます。

③ 総合相談支援

今年も医療機関からの相談が増加傾向みられています。また地域住民や民生委員による情報提供も増え認知症に関することやその他独居生活の方や生活困窮の相談も増えています。更に連携可能なネットワークの輪を広げていくことが課題と思われます。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

これまで実施していた『サポートネット』に加え、市民後見人も参加した『サポートネット全体会』にも参加しています。専門職機関との連携や市民後見人の支援を通じて権利擁護に努めています。また、昨年同様に県行政書士会神奈川東支部との協働事業として、個別相談会を実施しました。

消費者被害の防止・普及啓発のため、地区消費生活推進員の方々と協力し講座を行いました。

② 高齢者虐待への対応

区共催の『高齢者虐待防止連絡会』への参加や、研修を通じた虐待対応のスキルアップを図りました。民生委員向けに、区発行の『高齢者虐待防止ハンドブック』の活用方法等の研修を行いました。また包括内では虐待防止の一助として『介護者のつどい』を開催し、介護負担の軽減と虐待防止に努めました。

③ 認知症

認知症の方を地域で見守る体制作り構築の為、認知症サポーター養成講座を学校向け（小学校2校、中学校1校）合計3回、地域住民向けに1回開催しました。又、キャラバンメイトのつどいを月1回開催し毎回9~14名（包括・ケアプラザ職員含む）の参加を頂きました。その際には、講座開催準備（寸劇を含む）や講座開催後の振り返り、今後のサポーター養成講座の開催に向けての意見交換を行なっています。

その他、認知症カフェとして、たかたの丘サロン（毎月1回）やえがおカフェ（年間10回）を開催しました。但し、認知症の方の参加までには至らなかった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員とケアマネジャーとの懇談会を開催しました。グリーンケアを主とした在宅での看取りをテーマに現場で活動している訪問看護の方を呼んで講演を頂き、その後、話し合いを持ちました。

地域包括支援センターの役割の周知について、ケアプラザの催し物開催時や、広報誌への掲載、自治会会合へ出席した際にお知らせを行ないました。

生活上の健康リスクや要介護リスクのある高齢者の情報が入った際は、できるだけ早期に対応できるようにして、地域での見守りや必要機関へ繋ぐよう努めました。認知症が疑われる方に関しては認知症診断医療機関を紹介、または必要により紹介して繋ぐ支援を行ないました。

②医療・介護の連携推進支援

高齢者支援ネットワーク研修会（区内包括、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、ガンバ港北、区役所の各代表が参加）にて、今年度3回実施。各々の研修会にてテーマを設定。各立場から意見交換を行なうことが出来た。

高田地区ケアマネ連絡会として、協力医療機関のPTをお呼びして、在宅でのリハビリの重要性について講演会をして頂き、ケアマネとの連携推進を図りました。

③ケアマネジャー支援

高田地区にお住まいの利用者の方を担当するケアマネジャーを対象に、高田地区ケアマネ連絡会として勉強会、交流会を年2回実施しました。内容としては、民生・児童委員との交流会や在宅リハビリテーション事業について学ぶ機会を作りました。ケアマネジャー間との交流も図りました。

高齢者支援ネットワーク（区内9包括合同、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、ガンバ港北、区役所）で年3回の研修会を実施しました。各々の会でテーマを設けて、ケアマネジャーが多職種と連携が取れる体制作りを図りました。

区内包括合同で、インフォーマル情報を更新、交付し情報提供を行ないました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別地域ケア会議を年間1回開催しました。サービス付高齢者住宅に入居されている方で、随時外出してしまう方を如何にして、地域で見守っていくかを検討しました。

包括レベル地域ケア会議は、年間2回の開催を行ないました。1回目は、テーマを個別地域ケア会議から抽出した課題として、一人暮らし及び認知症の方に対する見守りを地域としてどのように進めていくのかを話し合いました。2回目は、先駆的に見守りシステムを構築している地区の代表の方をお呼びして、どのように構築していったのかを確認させて頂きました。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要介護状態になるのをできる限り予防するため「本人ができることはできる限り本人が行なう」を基本に考え支援を行なっています。介護予防ケアプランを作成する上で、利用者やご家族が制度について理解し、単にサービスを当てはめるのではなく、できるだけ自立を妨げないようインフォーマルサービスの利用を活用し支援を行っています。

サービス利用が目的になっていないか、家族の意向のみ重視されていないか、本人が理解できる表現を使用しているか等に注意を払いました。委託先のケアマネジャーが開催する担当者会議にはできる限り出席し相談支援を行ないました。

- ・地域包括支援センター内の連携

月1回の定期的ミーティングの機会を設けることで、業務の進捗状況の確認と業務内容の共有化を図り、職種間の情報の共有と協力体制を整えました。各職種が専門性を発揮しながらも、チームとして効果的な業務を行うことができました。

- ・マネジメントする側の職員も研修・講演会等に積極的に参加し、専門職としての意識やスキル向上に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

高齢者が住み慣れた地域で生活が続けられるように、介護予防に関する情報提供や講演会、教室を実施し啓発活動に努めました。

- ・ ロコモ予防講座 《H31年1月～3月 全6回》
介護予防体操、口腔ケア、栄養、フットケア、認知症予防、歩き方講座を行いました。
講座終了後、体操サークル、元気づくりステーション2カ所への参加を勧め、継続していただいています。
- ・ スリーA（脳活性化ゲーム）支援者養成講座：全3回、フォローアップ講座：1回
参加者でボランティア団体を立ち上げ、元気づくりステーション、デイサービスで活動しています。
- ・ たかたの丘サロンで、“お口の健康とは”口腔ケア、“元気に食べ続けるために”栄養講座を各1回ずつ行いました。
- ・ 地区社協 居場所づくり事業“ふらっと高田”へ月1回定期的に出向き、介護予防体操の指導、健康に関する情報提供や相談に対応しました。
- ・ 介護予防活動をしている6グループが集まり作業療法士を講師に招き、活動する意味・必要性を改めて確認することができました。レクリエーション体験・情報交換等を行い、交流の機会を持ちました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

開所から19年が過ぎ、内装や設備、備品などに経年による不良箇所が多く見つかったため、修繕や入れ替え等を行いました。日常的に職員が目視での不具合や異音等に注意し、不良箇所の早期発見、早期対応に努めました。設備保守等の業務委託についても、内容を見直し、業務の省力化や効率化を含めた提案を求めた上で再契約しました。また、法人の関連施設と共に契約することでのスケールメリットも活用し、高品質のメンテナンスを安価で行えるよう努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

介護保険事業、指定管理事業ともに利用の向上を図るべく、地域や関係機関を通じて広く施設の活用を働きかけ、安定した収入と、利用者からの高い評価を得られるよう努めました。システム状況を随時見直して業務の迅速さや正確さを向上させるとともに業務が効率的に進むよう努めました。職員一人ひとりが節電節水やリサイクルに積極的に取り組むとともに、業務におけるコスト意識を高く持ち、効率的に運営できるよう心掛けました。消耗品や設備保守料等も公正で安価に調達し、経費節減に努めました。

(3) 苦情受付体制について

各部門に苦情受付担当者と苦情解決責任者を置き、第三者委員は法人にて2名の委員を配置して対応しました。周知は施設内の掲示や配布書類への記載等により行い、苦情の把握は意見箱の設置の他、利用者へのアンケート等の各種調査、利用団体の代表者会議等により行いました。寄せられた苦情等に対しては、随時ミーティングや職員会議等で検討し、早期対応に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

年に2回消防訓練を行い、職員の防災意識を高めるとともに、有事の避難誘導や非常通報、応急処置やAED操作等を冷静に行えるよう努めました。また、福祉避難所である施設の役割を周知し、災害時に的確な対応ができるよう努めるとともに、応急備蓄物資も必要数を整備しました。日常から防犯、防災を心がけ、個人情報を含む機密文書の管理や保管場所の施錠、電気設備等のスイッチの停止などを確実にし、二次的な犯罪、災害の防止に努めました。

(5) 事故防止への取組について

日頃からヒヤリハット事例の記録を蓄積しておき、職員会議等で随時対応について考え、事故を未然に防ぐよう心掛けました。また、職員にリスクマネジメントの考え方を周知、徹底し、万一事故が発生しても適切な対応ができるよう指導し、原因究明、対象者への説明、関係機関への報告等を的確に行い、その後の事故防止に役立つよう努めました。健康福祉局発行の事故発生状況通知も事故防止活動に役立てました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

職員については採用時に秘密保持と個人情報保護に関する誓約書の提出を義務付け、その後もミーティングや職員会議等の場で、随時これらの意識を高く持ち続けるよう指導しました。また、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、同意の下での最小限の使用にとどめ、二次利用することのないよう徹底しました。ケースファイル等文書の保管についても施錠のできるロッカーに管理して担当者が必要時のみ開けるように徹底しました。個人情報漏えい防止については個人情報を取り扱う業務手順を周知徹底し、チェック機能が働く体制づくりを心掛けました。

(7) 情報公開への取組について

施設の広報紙を毎月発行し、ケアプラザ窓口の他、町内会の回覧板や掲示板、店舗等にて配布しました。また法人ホームページからも情報発信しました。施設に寄せられた要望や苦情については利用者会議での周知の他、必要に応じて概要と対応を情報コーナーに掲示しました。その他に自主事業や利用団体の活動時、運営協議会等も活用し、情報公開に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

職員には疾病や障がいに関する偏見や、社会的身分や出身への差別などが起きないように、人権擁護について高い意識を維持するよう指導しました。また各種事業においても積極的・継続的に啓発を行うことを心掛けました。日頃から公正な職務態度や丁寧な接遇、言葉遣いを心掛け、利用者や相談者等に誤解や不快感を与えることがないように努めました。職員間においても各種ハラスメントの防止に努め、良好な職場環境の維持に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

館内で発生するゴミの減量化に努力し、出たものについては確実に分別し、リサイクルできるものは資源として再利用にまわす等の取り組みを行いました。日頃から節電や節水、車両のアイドリングストップ、適切な空調管理に努め、省資源、省エネルギーに心掛けました。地球温暖化防止や空気清浄等に効果があるとされる緑化の推進については、地域ボランティアの協力を得ながら、主にプランターの植栽にて対応しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者：1名 業務の管理を一元的に行う。
- ・ 保健師等：1名
- ・ 主任ケアマネジャー：1名
- ・ 社会福祉士：1名

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの提供を行う。

《目標に対する成果等》

- ・ 要介護状態になるのをできる限り予防するため「本人ができることはできる限り本人が行なう」を基本に考え支援を行なっています。介護予防ケアプランを作成する上で、利用者やご家族が制度について理解し、単にサービスを当てはめるのではなく、できるだけ自立を妨げないようインフォーマルサービスの利用を活用し支援を行っています。
サービス利用が目的になっていないか、家族の意向のみ重視されていないか、本人が理解できる表現を使用しているか等に注意を払いました。委託先のケアマネジャーが開催する担当者会議にはできる限り出席し相談支援を行ないました。
- ・ 地域包括支援センター内の連携
月1回の定期的ミーティングの機会を設けることで、業務の進捗状況の確認と業務内容の共有化を図り、職種間の情報の共有と協力体制を整えました。各職種が専門性を発揮しながらも、チームとして効果的な業務を行うことができました。
- ・ マネジメントする側の職員も研修・講演会等に積極的に参加し、専門職としての意識やスキル向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 交通費…担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターを含む5職種間で情報共有を図り、協働して行う事業を通じて地域の特性を把握し活かせるよう連携を図ることができました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
163	152	154	155	152	151
10月	11月	12月	1月	2月	3月
155	158	159	159	164	165

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤兼務 管理者 1名 介護支援専門員 2名

《目標に対する成果等》

- 連携を図り、サービスの質向上
 - ・ 事業所内での連携
個々の介護支援専門員の利用者の大きな状態変化を担当職員以外でも対応できるように、職員間で毎週1回報告連絡を行い、利用者の緊急時の要望に担当職員以外でも対応できるようしました。
 - ・ 他職種、他事業所との連携
必要に応じて各サービス事業所の担当者との連携を密にし、利用者への支援内容の確認・ケアの統一を行い、最も適切なサービスが提供できるよう努めました。
- 専門分野の知識の向上
 - ・ 研修には積極的に参加し、介護支援専門員としての専門性を高め、また、知識の向上のみでなく、他事業所のケアマネジャー等との情報交換の場としました。
 - ・ 研修会での内容や最新情報等は事業所内で共有しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 交通費・通所のサービス実施地域を超える地域に訪問し、出張する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域包括支援センター併設事業所という性格を生かし、密に連携を取りながら、緊急、困難ケース等について迅速に対応しました。
- 地域ケアプラザ内の地域交流部門より、地域のインフォーマルサービス（ボランティア活動等）についての情報を取得し、また、地域交流部門にも協力してもらいながら地域の社会資源を有効活用しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
73	76	76	77	80	83
10月	11月	12月	1月	2月	3月
85	92	93	90	93	95

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成 ●介護に係る相談援助
- 機能訓練（日常動作訓練） ●介護サービス（移動や食事、排泄の介助）
- 健康状態の確認 ●送迎 ●食事 ●入浴 ●口腔ケア
- 集団でのレクリエーション、創作活動等の機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 692円 （要介護2） 816円
 - （要介護3） 947円 （要介護4） 1,076円
 - （要介護5） 1,205円
- サービス提供体制強化加算（I）イ 20円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 入浴加算 54円
- 介護職員処遇改善加算（I） 所定単位数の5.9%
- 食費負担 700円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

- 生活相談員 常勤2名 ●介護職員 常勤2名 非常勤17名
- 看護師（機能訓練指導員） 非常勤5名

《目標（取組、達成状況）》

- 利用者のADLに応じた自立支援型のプログラムを実施しました。
- 利用者が楽しく利用していただくことを念頭に置き、季節に即した行事レクを企画・実行しました。また、麻雀、将棋、絵手紙などの専門的なボランティアに活動していただき、利用者の個別のニーズに対応しました。
- 利用者の臨時利用や送迎時間の変更など、利用者の家族のニーズにも柔軟に対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 月毎の行事レクリエーションの実施。
 （5月：演芸大会 7月：納涼会 9月：運動会 10月：外食レク
 12月：クリスマス 1月：初詣 2月：小学生と豆まき 3月：お花見）

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
635	639	633	665	694	666
10月	11月	12月	1月	2月	3月
712	699	654	605	594	632

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- サービス計画の作成
- 介護に係る相談援助及び助言
- 機能訓練（日常動作訓練）
- 介護サービス（移動や排泄の介助）
- 健康状態の確認
- 送迎
- 入浴
- 食事
- 口腔ケア
- 集団のレクリエーション、創作活動等の機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者又は要支援1・2で週1回程度利用の場合） 1,766円
 - （事業対象者又は要支援2で週2回程度利用の場合） 3,621円
- サービス提供体制強化加算（I）イ
 - （事業対象者又は要支援1・2で週1回程度利用の場合） 78円
 - （事業対象者又は要支援2で週2回程度利用の場合） 155円
- 介護職員処遇改善加算（I） 所定単位数の5.9%
- 食費負担 700円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

- 生活相談員 常勤2名
- 介護職員 常勤2名 非常勤17名
- 看護師（機能訓練指導員） 非常勤5名

《目標（取組、達成状況）》

- 利用者のケアプランに基づき、自立支援を念頭においたプログラムを実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 月毎の行事レクリエーションの実施。
 （5月：演芸大会 7月：納涼会 9月：運動会 10月：外食レクリエーション
 12月：クリスマス会 1月：初詣 2月：地域の小学生と豆まき 3月：お花見）

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19	17	18	17	16	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	13	13	15	15

平成30年度「高田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,892,986	0	14,892,986	14,464,889	428,097	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	24,000	△ 24,000	自主事業収入
雑入	0		0	45,841	△ 45,841	
印刷代	0		0	29,480	△ 29,480	コピー代
自動販売機手数料			0	16,241	△ 16,241	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	120	△ 120	公衆電話使用料
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	15,056		15,056		15,056	
収入合計	18,495,542	0	18,495,542	18,122,230	373,312	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,925,701	0	9,925,701	10,418,636	△ 492,935	
本俸	6,329,746		6,329,746	6,297,445	32,301	基本給
社会保険料	719,856		719,856	997,189	△ 277,333	健康保険、雇用保険、厚生年金等
手当計	2,814,735		2,814,735	3,072,708	△ 257,973	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	22,000		22,000	27,621	△ 5,621	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	5,588	412	共済掛金
退職給付引当金繰入額	18,364		18,364	18,085	279	退職給付引当金
その他	15,000		15,000	0	15,000	インフルエンザ予防接種料
事務費	1,975,509	0	1,975,509	1,873,390	102,119	
旅費	17,400		17,400	34,690	△ 17,290	会議等交通費
消耗品費	459,800		459,800	294,465	165,335	洗剤、消臭剤、ペーパータオル等
会議賄い費	500		500	0	500	飲料
印刷製本費	11,300		11,300	5,130	6,170	名刺、封筒
通信費	170,700		170,700	181,713	△ 11,013	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	9,600	0	9,600	10,368	△ 768	
横浜市への支払分	9,600		9,600	10,368	△ 768	自動販売機目的外利用料
その他			0	0	0	なし
備品購入費	773,500		773,500	1,098,881	△ 325,381	イス、調理道具、食器、蛍光灯、清掃用品等
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	書籍
施設賠償責任保険	96,100		96,100	0	96,100	施設賠償責任保険料
職員等研修費	10,800		10,800	1,730	9,070	研修参加費
振込手数料	500		500	215	285	振込手数料
リース料	288,409		288,409	0	288,409	なし
手数料	1,000		1,000	0	1,000	なし
地域協力費	5,000		5,000	79,500	△ 74,500	会費等
その他	125,900	0	125,900	166,698	△ 40,798	車両燃料費、訪問時駐車料等
事業費	292,000	0	292,000	192,383	99,617	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,040	29,960	
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	180,343	69,657	自主事業経費
管理費	5,542,332	0	5,542,332	6,559,135	△ 1,016,803	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	2,527,900	0	2,527,900	3,950,656	△ 1,422,756	光熱水費
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,344,985		1,344,985	0	1,344,985	日常清掃費
修繕費	474,000	0	474,000	45,903	428,097	
機械警備費	133,878		133,878	0	133,878	機械警備費
設備保全費	967,569	0	967,569	0	967,569	
空調衛生設備保守	292,410		292,410	0	292,410	空調設備保守料
消防設備保守	47,780		47,780	0	47,780	消防設備保守料
電気設備保守	37,269		37,269	0	37,269	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	40,613		40,613	0	40,613	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	549,497		549,497	0	549,497	自動ドア、昇降機、ボイラー保守料
共益費	0		0	0	0	なし
その他	94,000		94,000	0	94,000	ルート回収費
公租公課	760,000	0	760,000	833,490	△ 73,490	
事業所税			0		0	
消費税	760,000		760,000	833,490	△ 73,490	消費税
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,495,542	0	18,495,542	19,877,034	△ 1,381,492	
差引	0	0	0	△ 1,754,804	1,754,804	

自主事業費収入	250,000		250,000	24,000	226,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	250,000		250,000	180,343	69,657	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 156,343	156,343	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「高田地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,386,000	0	23,386,000	22,894,201	491,799	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	65,600	△ 65,600	自主事業収入
雑入	0	0	0	16,361	△ 16,361	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	16,241	△ 16,241	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	120	△ 120	公衆電話使用料
その他（提案時控除 法人負担分）	199,000		199,000		199,000	
収入合計	29,525,000	0	29,525,000	28,916,162	608,838	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,514,000	0	25,514,000	25,343,382	170,618	
本俸	10,777,014		10,777,014	10,650,450	126,564	基本給
社会保険料	3,307,203		3,307,203	3,292,342	14,861	健康保険、雇用保険、厚生年金等
手当計	11,055,021		11,055,021	11,117,426	△ 62,405	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	29,295		29,295	29,295	0	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	306,520		306,520	16,762	289,758	共済掛金
退職給付引当金繰入額	0		0	237,107	△ 237,107	退職給付引当金
その他	38,947		38,947	0	38,947	インフルエンザ予防接種料
事務費	1,090,200	0	1,090,200	1,352,612	△ 262,412	
旅費	26,500		26,500	28,802	△ 2,302	会議等交通費
消耗品費	154,600		154,600	164,894	△ 10,294	ペーパータオル、消毒液等
会議賄い費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	11,300		11,300	14,220	△ 2,920	名刺、封筒
通信費	144,900		144,900	173,238	△ 28,338	電話代、郵送料
使用料及び賃借料	9,600	0	9,600	10,368	△ 768	
横浜市への支払分	9,600		9,600	10,368	△ 768	自動販売機目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	84,700		84,700	825,100	△ 740,400	事務用品、蛍光灯等
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	書籍代
施設賠償責任保険	20,100		20,100	0	20,100	施設賠償責任保険料
職員等研修費	55,000		55,000	21,721	33,279	研修参加費
振込手数料	500		500	351	149	振込手数料
リース料	529,300		529,300	0	529,300	なし
手数料	1,000		1,000	0	1,000	なし
地域協力費	0		0	20,000	△ 20,000	会費等
その他	47,700	0	47,700	93,918	△ 46,218	車両燃料費、訪問時駐車料等
事業費	1,170,000	0	1,170,000	556,976	613,024	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	
指定管理料充当 事業（包括）	80,000		80,000	107,176	△ 27,176	自主事業経費
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,170	△ 170	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	46,630	262,370	
管理費	1,750,800	0	1,750,800	1,743,559	7,241	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	949,400	0	949,400	1,050,174	△ 100,774	光熱水費
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	357,527		357,527		357,527	日常清掃費
修繕費	126,000		126,000		126,000	
機械警備費	35,587		35,587		35,587	機械警備費
設備保全費	257,195	0	257,195	0	257,195	
空調衛生設備保守	77,728		77,728		77,728	空調設備保守料
消防設備保守	12,700		12,700		12,700	消防設備保守料
電気設備保守	9,906		9,906		9,906	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	10,795		10,795		10,795	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0		0	なし
その他保全費	146,066		146,066		146,066	自動ドア、昇降機、ボイラー保守料
共益費	0		0		0	なし
その他	25,091		25,091		25,091	ルート回収費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	29,525,000	0	29,525,000	28,996,529	528,471	
差引	0	0	0	△ 80,367	80,367	

自主事業費収入	540,000		540,000	65,600	474,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出	540,000		540,000	304,976	235,024	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 239,376	239,376	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:高田地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入												
介護保険収入	3442	3490	-48	16885	15452	1433	74738	79872	-5134	5647	5091	556
その他	6310	0	6310	97	168	-71	5114	5362	-248	870	840	30
介護予防ケアマネジメント費	6310		6310			0			0			0
事業・負担金収入			0			0			0			0
食費等			0			0	5114	5362	-248	870	840	30
認定調査料			0	97	168	-71			0			0
			0			0			0			0
その他			0			0			0			0
収入合計(A)	9752	3490	6262	16982	15620	1362	79852	85234	-5382	6517	5931	586
支出												
人件費			0	13643	15318	-1675	60172	54306	5866			0
事務費			0	2056	1806	250	12981	12246	735			0
事業費			0	1113	943	170	12930	14138	-1208			0
管理費			0			0			0			0
その他	6310	0	6310	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0
介護予防プラン委託料	6310		6310			0			0			0
			0			0			0			0
			0			0			0			0
その他			0			0			0			0
支出合計(B)	6310	0	6310	16812	18067	-1255	86083	80690	5393	0	0	0
収支(A)-(B)	3442	3490	-48	170	-2447	2617	-6231	4544	-10775	6517	5931	586

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
たかた寄席	地域一般	11011	地活	11011					
	35		包括					11011	
	無料		介護						
高田子ども未来応援団	小中学生	6402	地活	6402					
	142		包括					6402	
	無料		介護						
ふれあい広場 「百人一首・かるた大会」	地域一般	1496	地活	1496					
	16		包括					1496	
	無料		介護						
健康測定会	地域一般	0	地活	0					
	80		包括						
	無料		介護						
あおぞら会自動車ポッポ 共同事業	障がい児	0	地活	0					
	56		包括						
	無料		介護						
利用者会議	貸館利用団体	0	地活	0					
	63		包括						
	無料		介護						
えがおカフェ	地域一般	49900	地活						
	348		包括	14000	35900		10000	39900	
	100円		介護						
終活教室①	地域一般	15873	地活						
	32名(うち17名参加)		包括	10773	5100		15517	356	
	300円		介護						
終活教室②	地域一般	356	地活						
	34名		包括	356				356	
	無料		介護						
キッチン亭	高齢者	17564	地活						
	34名		包括	17564			16447	1117	
	無料		介護						
消費生活啓発イベント	高齢者	0	地活						
	45名		包括	0					
	無料		介護						
個別相談会	地域一般	587	地活						
	9名		包括	587				587	
	無料		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
たかたの丘サロン	高齢者	15463	地活	13400			15463	
	182		包括					
	100円		介護					
			生活					
男性向けサロン	男性高齢者	5296	地活	9100			5296	0
	91		包括					
	100円		介護					
			生活					
地域交流会	高齢者	5000	地活	0				5000
	40		包括					
	無料		介護					
			生活					
癒しのイベント オアシス	高齢者	12004	地活	1800			12004	
	11		包括					
	300円		介護					
			生活					
第2弾オアシス	高齢者	8867	地活	0				8867
	37		包括					
	無料		介護					
			生活					
スマイル・ベリーズ	障がい児	16355	地活	1000				16355
	16		包括					
	実費負担		介護					
			生活					
高田地区介護者 のつどい		0	地活					0
			包括					
			介護					
			生活					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					
		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活					

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
歌声ラララ	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域の音楽が好きな人達の交流、親睦を深めコーラスを楽しむ</p> <p>【実施内容等】 季節に合った歌をみんなで歌う</p>	4/23・7/23・ 10/22・1/28 (4 回)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽楽ウォーキング	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 ウォーキングを始めるきっかけとなる事を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 高田地区保健活動推進員との共催事業。港北ボランティアガイドの方々にも参加して頂く。</p>	毎月第3金曜日 (2・8月除く) 全10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
港北区生まれの野菜を食べよう	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地場野菜を使ったレシピを（特に）子育て世代へ伝える。同時に地産地消のPRも行う。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ駐車場を利用して、地場野菜をレシピの紹介をする。</p>	6/29・7/6・7/13・ 11/30・12/7・ 12/14 (6回)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックガーデン	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 音楽を通じて、地域の方との交流を深める</p> <p>【実施内容等】 地域にお住まいの方より、ご自身のコレクションであるレコードや映像を活用したサロンを開催。</p>	9/1・12/9・3/30 (3回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏まつり	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域ケアプラザ利用機会の少ない、30～40代の方（小学校保護者層）へのケアプラザPRや地域の方との交流の場を持つ。</p> <p>【実施内容等】 打ち上げ花火、噴上げ花火を行う。</p>	7/21
こまごまからふる	<p>【対象者】 区内在住の障がい児</p> <p>【目的】 対象学年を設定したニーズに合った内容で実施。</p> <p>【実施内容等】 新吉田、高田、下田、樽町、日吉本町、新羽6館共催事業。</p>	6/23・10/27・2/23 (3回)
こまごまなつとも	<p>【対象者】 区内在住または在学の小1から中3までの障がいのある方</p> <p>【目的】 様々な年代の友達や大人の方と交流の機会を持つ</p> <p>【実施内容等】 港北区学齢障害児余暇支援事業実行委員会主催事業。7/30は、野菜収穫と調理。8/7は、館内レクと調理。</p>	7/30・8/7 (2回)
たかたべりーず	<p>【対象者】 高田地区の個別支援級在籍児</p> <p>【目的】 障がいのある子どもたちが身近な地域の人々と交流したり、有意義な余暇を過ごす機会を身近な場所で提供することで障がい児の社会参加の促進と家族の負担軽減が主な目的。</p> <p>【実施内容等】 高田地区社会福祉協議会共催の学齢障がい児余暇支援事業。カップヌードルミュージアムへ外出。</p>	3月29日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高田ふれあい作品展	<p>【対象者】貸館団体、地域一般</p> <p>【目的】ケアプラザを地域の人に知っていただき、地域交流に参加貢献してもらおう。また、作品を通じて、学校や施設など横のつながりを密にしていく。</p> <p>【実施内容等】貸館利用団体の作品展示、発表の場とし、地域の方にも活動を知っていただく。また、体験コーナーを設置し、実際に体験してもらおう。団体間の横のつながりを作る。</p>	11/3・4 (2日間)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい広場「そば打ち」	<p>【対象者】地域一般</p> <p>【目的】地域の方が気軽に集まれる場所、世代を問わず異世代の交流ができ、外出機会や交流機会のきっかけとなることを目的とする。</p> <p>【実施内容等】ケアプラザ利用活動団体にそば打ちをしていただき、地域の方へ提供をする。</p>	12/1
事業名	目的・内容	実施時期・回数
館内大掃除	<p>【対象者】貸館利用団体</p> <p>【目的】貸館利用団体の福祉保健活動の一環としてケアプラザ貸館部分の大掃除を行う。清掃終了後、交流会を実施し団体間の関係作りに繋げる。</p> <p>【実施内容等】貸館利用団体によるケアプラザ貸館部分の大掃除。清掃終了後、交流会を実施。</p>	12/12
事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>【対象者】地域一般</p> <p>【目的】中学校が高台にあり高齢者には行きにくいことや、日頃中学生との関わりが薄い方々にも地域学校の活動を知っていただく機会として開催。</p> <p>【実施内容等】高田中学校吹奏楽部による地域向けコンサート</p>	12/16

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たかた寄席	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域で活動している団体（慶應義塾大学落語研究会）に依頼し落語を披露していただく。普段遠出ができない方にも地域で寄席の雰囲気味わってもらい。地域学校の活動を知る機会として開催。</p> <p>【実施内容等】 慶應義塾大学落語研究会による寄席。</p>	2/16
事業名	目的・内容	実施時期・回数
高田こども未来 応援団	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 高田地区の子どもたちを対象とした居場所づくり。住民主体の実行委員を立ち上げ、企画、運営を行っていく。</p> <p>【実施内容等】 年3回のオープンスペースの開催。</p>	8/22
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあい広場 「百人一首・か るた大会」	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域の方が気軽に集まれる場所、世代を問わず異世代の交流ができ、外出機会や交流機会のきっかけとなることを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 百人一首、かるたを通じた多世代交流</p>	1/12
事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定会	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 健康づくりのきっかけや継続していく励みとなるよう、地区における健康測定会を開催。</p> <p>【実施内容等】 保健活動推進員共催事業。各測定器を用意し個々の健康管理を促す。保健活動推進員が主体となり事前準備から当日の進行を行い、プラザがサポートをする。</p>	7/14

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおぞら会自動車 ポッポ共同事業	<p>【対象者】 障がい児</p> <p>【目的】 メンバー減少傾向にある、あおぞら会自動車ぽっぽへの支援を行い、立て直しに協力していく。自主レクレーションへの協力と共催事業実施を通してメンバーの障がい支援のスキルアップへ繋げる。</p> <p>【実施内容等】 障がい者地域訓練会との共催。</p>	7/8・3/17
事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用者会議	<p>【対象者】 貸館利用団体</p> <p>【目的】 貸館利用団体からの要望や質問・意見等を確認し、またプラザからも利用規定等の変更内容を伝え、各団体が快適に利用していただくことを目的とする。</p> <p>【実施内容等】 事前アンケートについての結果報告、今年度のケアプラザについて、質疑応答など</p>	5/19
事業名	目的・内容	実施時期・回数
えがおカフェ	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 どなたでも参加できるカフェサロンで、毎月いろいろなイベントや講座を行い、楽しく介護・認知症予防の為の知識を身につけ笑顔で元気になれるサロンを目指す。</p> <p>【実施内容等】 13：00～14：00 イベントや講座 14：00～15：00 カフェサロン</p>	毎月第4水曜日 13：00～15：00 ※8月・12月は除く 参加費：100円 (コーヒー代)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活教室①	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域住民に対し、安心・安全な老後を準備していく為の講座を2回シリーズで開催していく。</p> <p>【実施内容等】 自分と家族を守る老い支度 エンディングノートの良い使い方・危ない使い方。講座後に昼食を準備し、歓談していただく。午後は個別相談の時間を設けて相談対応を行っていく。</p>	5/17 (木) 10：30～13：30 昼食代：300円

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
終活教室②	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 地域住民に対し、安心・安全な老後を準備していく為の講座を2回シリーズで開催していく。</p> <p>【実施内容等】 自分と家族を守る老い支度 相続・遺言・後見のお話。お金や財産が凍結されて困らないように、老い支度として有効活用できる法制度を事例を使いながら紹介していく。</p>	5/27 (日) 10:30～11:45
キッチン亭	<p>【対象者】 地域にお住まいの高齢の方・障がいのある方・独居の方</p> <p>【目的】 地域でお住まいの高齢者の方・障がいのある方・独居の方など課題をかかえる方に対してアプローチをするきっかけを目的に地域での交流の場を設け、ケアプラザを身近に感じ知ってもらおう。</p> <p>【実施内容等】 地域の活動団体『ふくろうクラブ』と『つくしんぼ』の皆様にご協力をいただき昼食を提供してもらおう。 参加者への送迎を行い、昼食・ミニレクリエーション・栄養アドバイス等を行う。</p>	10/11 (木) 11:30～13:30
消費生活啓発イベント	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 大きな被害にならないように未然防止に努める。最近の振り込め詐欺や悪質商法の新しい手口を知り、注意や対策を学ぶ。</p> <p>【実施内容等】 ～振り込め詐欺・悪質商法にご用心～ ・港北警察署生活安全課：振り込め詐欺など特に最近の新しい手口やそれに対する注意と対策。 ・横浜市水道局：地域での災害対策について</p>	11/14 (水) 13:00～14:30
個別相談会	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 後見や遺言・相続などに関する個別相談会を区内 包括や社協などを会場に巡回型で実施することで制度の周知や利用支援に繋げる。</p> <p>【実施内容等】 定員12名で事前申し込み制とする。 行政書士コスモス神奈川東支部と共催</p>	3/9 (土) 10:00～12:00

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高田地区介護者のつどい	<p>【対象者】 介護している方</p> <p>【目的】 介護者支援(介護者の介護負担軽減や介護者同士の仲間づくり)</p> <p>【実施内容等】 介護者同士の情報交換また、包括職員・区職員も参加し福祉保健に関する情報提供を行う 11月：リフレッシュのための外出 3月：施設見学</p>	年：11回 (毎月第2木曜日・8月休)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性向けサロン	<p>【対象者】 地域一般（男性）</p> <p>【目的】 自宅にこもりがち、仲間作りをしたい、運動器具を使用し、体を動かしたい男性向けの居場所づくり</p> <p>【実施内容等】 運動指導員のもと、マシントレーニング等を行う。</p>	毎月第3土曜日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
たかたの丘サロン	<p>【対象者】 高齢者</p> <p>【目的】 ケアプラザまで足を運ぶことが困難な方への居場所づくり</p> <p>【実施内容等】 茶話会中心。 脳活性化ゲームや介護予防・認知症予防の講座を開催も開催。 最後には歌を歌う。</p>	毎月第1金曜日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域交流会	<p>【対象者】 そんぽの家S高田入居者、高田地区にある地域活動団体、町内会、民生委員</p> <p>【目的】 サービス付高齢者住宅入居者も、高田地区の住民であることを自覚し、楽しんで住み慣れてもらい、社会参加のきっかけづくり</p> <p>【実施内容等】 南京玉簾を開催し、地域活動団体の紹介、茶話会</p>	H31. 2/6 (水) 14:00～15:30

平成30年度 自主事業報告書

横浜市高田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
癒しのイベント オアシス	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 普段の悩みや嬉しかったこと、感動したことを話し、悩みを一人で抱え込まないように、心のリフレッシュを図る</p> <p>【実施内容等】 フラワーアレンジメント 茶話会</p>	10/18 (木) 14:00～15:30
事業名	目的・内容	実施時期・回数
第2弾オアシス	<p>【対象者】 地域一般</p> <p>【目的】 適切な排泄ケア普及のため</p> <p>【実施内容等】 株式会社ユニ・チャームを講師に、高齢者に多い尿もれタイプの紹介や、尿もれの改善・維持する方法などを学ぶ</p>	H31. 2/19 (火) 10:30～12:00
事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマイル・ベ リーズ	<p>【対象者】 高田地区の個別支援級在籍児</p> <p>【目的】 障がいのある子どもたちが身近な地域の人々と交流したり、有意義な余暇を過ごす機会を身近な場所で提供することで障がい児の社会参加の促進と家族の負担軽減が主な目的。</p> <p>【実施内容等】 高田地区社会福祉協議会共催の学齢障がい児余暇支援事業。日吉本町ケアプラザ「スマイル」と合同にてしながわ水族館へ外出。</p>	11月10日
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	<p>【対象者】</p> <p>【目的】</p> <p>【実施内容等】</p>	